

## ◇令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	志津南まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	18,120,000円		16,393,985円	事業収益を事業で還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じた街づくりを進める。
施設HPアドレス	<a href="http://shizu373.net">shizu373.net</a>		2年目	18,150,000円		17,269,777円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
指定管理者名	志津南学区まちづくり協議会		3年目	18,804,636円		16,352,121円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	18,548,004円		18,707,645円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価… ☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価… ☆☆☆☆
年度 <sup>※</sup> の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)	事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)
草津市立地域まちづくりセンター条例第3条に掲げる業務について、各事業を計画および実施する際には前例踏襲ではなく、地域の特色に合わせた事業展開が行えるよう創意工夫を図る。また、利用者が安全・安心して利用できるよう管理運営に努め、貸館件数や利用者数の増加を図る。	利用者のニーズを踏まえながら地域の特色を活かした取り組みを実施されたことにより更なる地域住民の交流を図られた。 各事業の実施にあたっては前例踏襲ではなく、様々な創意工夫を行ったことが利用者数・貸館件数ともに前年対比で増加することに繋がったと考える。 今後も引き続き利用者が安全・安心して利用できるよう管理運営に努め、貸館件数や利用者数の増加に期待したい。
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)	公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証
地域の特色に合わせた事業展開に関しては、子どもが多い地域を対象とした、「子どもフェスタ」を10月に開催し、親子連れ等1,500人の来場者がありました。また、センターでは、「思い出の写真展」を開催し、これまでの志津南学区の歩みを住民みんなで作っていました。利用者が安全・安心して利用できるよう、段差には、蛍光色のテープを貼ったり、会議室床の「ささくれ」を修理しました。玄関の階段や、駐車場の杭は、6年度に修理予定です。	(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が見聞と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外ではなく、非公募による選定とした。  (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。

◆施設に係る主な指定管理業務	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること</li> <li>・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること</li> </ul>

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	貸館業務では、町内会会議や自主教室、有料団体等の利用者が多い中、新たに1団体が増加した。施設利用者も延べ10,640名と前年度より増加している。緊急時の対応として、消火器の置き場所や避難経路がわかるよう、各部屋に掲示している。コロナ対策としては、各部屋に消毒液を置いている。	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。引き続き緊急時には適切な対応ができるよう努められたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	貸館業務では、利用延べ人数は昨年度に比べて500人程増加している。委員会等の会議にもセンター利用することが多くなっている。利用者には、次の利用者が気持ちよく使ってもらえるようセンター独自の「使用報告書」に記入いただき、掃除や備品管理等も徹底している。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守し、適正な貸館業務を実施された。利用者数・貸館件数ともに前年対比で増加していることから、引き続き掃除や備品管理など利用者目線に立った貸館運営を実施いただきたい。
☆☆☆☆	☆☆☆☆			

施設および備品の維持管理等				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	常に利用者が快適に利用して頂けるよう、毎日開館前に職員全員で各部屋を点検・掃除をしている。利用者全員での掃除・消防訓練は、年末に行う予定。備品に関しては、備品管理台帳を備え、管理している。利用者サービスとしては、貸出図書を行い、サロンでは来館者がくつろげる空間も作っている。	上半期評価	仕様書等に定める基準を遵守しながら、事故なく安全な施設管理に努められた。また、利用者サービスとして、貸出図書を実施され、地域住民の読書の機会を提供された。管理運営全般のマニュアルについては、施設の特性に合わせたマニュアル作成に努められたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	常に利用者が快適に利用して頂けるよう、毎日開館前に職員全員で各部屋を点検・掃除をしている。保守点検に関しては、業務委託で適宜点検を行っている。年末には、センター利用団体と職員で館内の清掃をし、その後、消火器を使って防災訓練を行った。利用者サービスとしては、引き続き、草津図書館より借りた図書の貸出しを行っている。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守された。利用者の安心安全な施設利用のため職員全員で各部屋の点検・掃除に努められた。
☆☆☆☆	☆☆☆☆			

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務の基準				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月志津南newsを発行、全戸配布し、まちづくり協議会・まちづくりセンター・各団体の活動を具体的に発信・報告をしている。また、地域が豊かになる学びとして、やすらぎ学級、史跡探訪、パソコン講座、ホテルを見る会等を企画し、館外研修や講演を行っている。	上半期評価	仕様書等に定められた基準を遵守し、地域のまちづくりの拠点として、住民主体の多様な施設活用を展開された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月志津南newsを発行、全戸配布し、まちづくり協議会・まちづくりセンター・各団体の活動を具体的に発信・報告をしている。また、地域が豊かになる学びとして、やすらぎ学級、史跡探訪、パソコン講座を行い、また、「思い出の写真展」を開催し、延べ300人超えの来場者があった。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定められた基準を遵守し、毎月の地域情報紙の発行やホームページなど、広く情報発信に努められた。なお、ホームページについては、リニューアルされたことで今後の発信力に期待したい。また、様々なセンター事業を実施して多くの地域住民が参加された。
☆☆☆☆	☆☆☆☆			

経営管理に関する業務				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	経理面では常にシビアに管理し、毎月1回職員会議で内部監査を行い、出納簿や通帳、収支決算書を全てを開示。見える化を徹底し、全員が共有し不正防止に努めている。アンケートでは、駐車場が狭いとの声が多いが、現状ではセンターだけの解決は難しい。	上半期評価	仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理などに努められており、下半期も引き続き努められたい。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	経理面では常にシビアに管理し、毎月1回職員会議で内部監査を行い、出納簿や通帳、収支決算書を全てを開示。見える化を徹底し、全員が共有し不正防止に努めている。年次報告は、期限内で提出できなかった。6年度より計画的に進めていく。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書等に定められた基準を遵守し、組織運営を行われた。経理面での徹底した管理体制については、他施設の模範となるよう引き続き期待したい。
☆☆☆☆	☆☆☆☆			